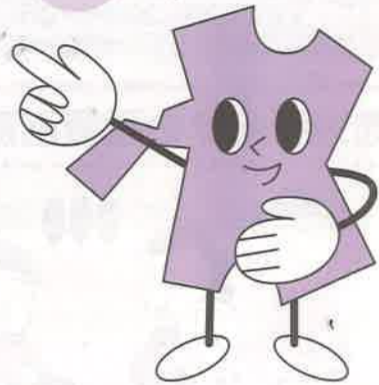


知りたい! 県庁

皆さんの質問にお答えします。



Q

牛海綿状脳症(いわゆる狂牛病)に感染している牛が見つかっていますが、牛肉は本当に大丈夫なのですか?

A

牛肉は安全です。国内で感染した牛が見つかったことで、牛肉の安全性に不安を持つ方も多いと思いますが、県では、県民の皆さんに安心して牛肉を食べていただけるよう、食肉となるすべての牛の検査を行い、検査に合格した牛肉だけが食用として提供されています。そもそも、牛海綿状脳症の原因である「異常プリオン」というタンパク質が認められるのは、感染した牛の脳やせき髄などの部分であり、牛肉には認められていません。したがって、牛肉はもとも安全であり、感染の問題と牛肉の安全性の問題は区別して考えていただきたいと思います。



Q

超高齢社会になってきますが、高齢者が生き生きと余暇を過ごしたり、活躍できる場はないでしょうか?

A

熊本県では、熊本さわやか長寿財団と協力して、高齢者の生きがいと健康づくりに向けてさまざまな取り組みを行っています。例えば、高齢者の皆さんに豊かに過ごしていただくための教養講座や体験講座などを内容とする「さわやか大学校」や、ほかの高齢者の方々が持ち前の技術や知恵を学ぶ「さわやか知恵袋講座」などがあります。そこでは、新たな出会いが生まれ、交流の輪も広がっています。また、「さわやか知恵袋講座」で学ばれた技は、地域の子どもたちや福祉施設の方との交流の場などでも活用されています。



お問い合わせ先

- 牛海綿状脳症対策一般について
熊本県農政課 政策班
☎096-383-1111 (内線5322)
FAX096-383-3270
電子メール nousei@pref.kumamoto.jp
- 牛海綿状脳症検査について
熊本県生活衛生課 乳肉衛生係
☎096-383-1111 (内線7186)
FAX096-387-5992
電子メール seikatsueisei@pref.kumamoto.jp

皆さんも、以上のことをご理解のうえ、熊本のおいしい牛肉を安心して召し上がってください。

お問い合わせ先 (財)熊本さわやか長寿財団 ☎096-354-3083 FAX096-354-3103

くまもと 女性特派員 レポート

生徒一人ひとりが輝きながら自立を目指す

熊本県立ひのくに高等養護学校 (菊池郡西合志町)

「生徒たちが自立するうえで、体力をつけることはとても大切なことです」授業の前に校内をジョギングしている生徒たちの姿を眺めながら、竹永校長は話を始められました。



ユニバーサルデザインの木造の校舎

熊本県立ひのくに高等養護学校」は、義務教育を終了した軽度の知的障害のある子どもたちを対象とした学校です。だれにでもやさしい「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた校舎で、「園芸」「工芸」「クリーニング」「窯業」の四つの職業学科があります。

ここでは、職業教育を主とした学習を通して、生徒の職業自立・社会自立に必要な能力を培い、心豊かな人間性をはぐくむことを目指しています。

私が取材した日は、生徒たちが熱心に花の苗植えや皮革工芸などの学習をしている様子を見学させていただきました。



くまもと女性特派員 中島 久美子さん (熊本市)

月に一度の「自立の日」では、生徒たち自身が、一日の活動を企画



竹永校長に話を聞く中島さん

現在、就学している一学年三十六名の生徒のほとんどが、自宅から学校まで公共交通機関を利用して通学しています。初めは、保護者の方が送り迎えすることもあったそうです。「子どもを信じてやらせてみることに。失敗しても、一人でできるようになれば、そのことが子どもの自信につながります」と竹永校長はおっしゃっていました。今後も、生徒たちは先生方の指導を受けながら、いろいろな経験をしていくでしょう。二年後の卒業の時に、さらに成長した姿を見ることができると思うと楽しみです。



校内の花壇のパンジーは生徒たちが育てたもの



皮革工芸に熱心に取り組む生徒たち